中部下水処理場

処理区の整備・拡充へ

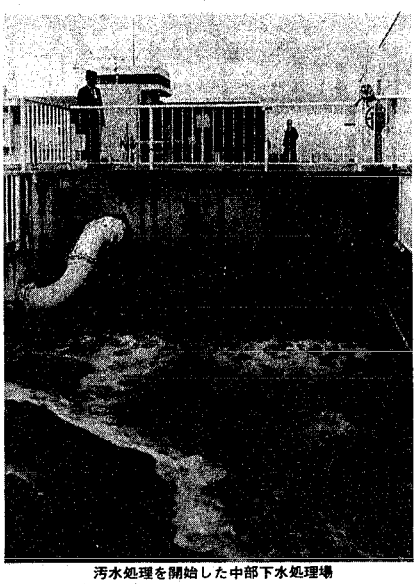
～生活環境整備に477億円投入～

生活環境

住宅着工は194戸

生活環境整備では、四百七十七億五千万円（予算全体の三七・一％）を投じて、公共下水道の整備、道路の舗装・改良、住宅の建設、公園や緑地の整備、駅南開発、都市計画街路事業などを行って、住みよい街づくりを進めていきます。

普及率二一％に達した公共下水道には七十四億八千万円を投入。昨年、万代排水区で処理を開始した中部処理場は、水処理施設の築造や水質試験機器、雨水除じん機の導入や場内の整備を図ります。また、整備、東部処理区関連では、処理開始予定区域の面的拡大を図るため、万代、白山、下所島、鳥屋野の幹線・枝線や山の下ポンプ場の整備石山、山ノ下、大平の幹線・枝線や山の下ポンプ場の整備を図ります。全面稼動している船見処理場は最初沈澱池築造工事を続けます。浸水対策は十億円をかけて、松崎四号雨水幹線・枝線の整備、坂井仮設ポンプ場の設置、鳥屋野排水区排水路ゲートを整備します。



汚水処理を開始した中部下水処理場

都市排水応急対策では、六億二千万円で排水路の改修や下水路築造を行います。

太夫浜と北山池に新公園

公園の整備には十億円を投入。太夫浜公園と北山池公園を新たに設置します。また、じゅんさい池公園、西海岸公園、阿賀野川河川公園、西大畑公園、小金町公園、津島屋六郎寺尾中央公園（新潟遊園の跡地）、潮検公園の八公園も引き続き整備を行っていきます。小公園は十八カ所、子どもの遊び場（借地公園）は三カ所整備します。この結果、市民一人あたりの公園面積は二・五六平方㍍になります。

障害者向住宅八戸建設

二十億円を投じて市営住宅の建設を行います。新年度着工は百九十四戸で、松浜町団地に五階建て二棟八十戸（五十七年三月完成予定）、中山団地に四階建て一棟三十二戸（二カ年継続で五十七年七月完成予定）、桃山町団地に五階建て一棟四十戸（二カ年継続で五十七年七月末完成予定）、新石山団地九階建て一棟四十二戸（五十七年十二月末完成予定）を建設。また、新年度完成は、新石山団地九階建て一棟八十一戸（今年七月完成）と川岸町団地四階建て一棟二十四戸（同）のほか松浜町団地八十戸の計百八十五戸となります。中山団地と川岸町団地には、それぞれ四戸の障害者向け住宅（車いす用）をつくります。そのほか、秋葉通団地の浴室増築事業（二十四戸分）と秋葉通団地、松島団地の外部建具取り替え事業を行います。

道路舗装は42㌔㍍

市民から要望の多い、道路千八百万円で、平島・出来島線や石山・岡山線の道路新設など工事延長約六・八㌔㍍を行います。道路排水側溝整備は、太郎代などで工事延長十一・四㌔㍍を実施。

舗装率は五十六年度末で六〇・九％（市道延長比）となります。道路改良事業は、八億二千万円を投じて、交通安全施設整備事業は、一億七千二百万円で歩道新設二㌔㍍、歩道改良二・九㌔㍍、防護柵設置三・七㌔㍍、標識設置七十二カ所を行います。

東新潟に自転車・歩行者道

山の下地区に自転車・歩行者道を着手します。自転車・歩行者道は来年度完成予定。

橋りょう整備では、八千代橋の接続坂路や女池13号線無名橋、広通江橋のかけ換え工事を行います。

南浜地区の未給水区域（約七百戸）への給水を今年の六月をメドに開始します。これで市内の給水率は一〇〇％になります。

漏水防止のため、延べ百㌔㍍にわたり調査、修理を行います。また、出水不良地区解消のため、億円を投入します。

南浜地区へ6月から給水

～給水率は100％に～

物の再利用のPRに努めるとともに、きれいなまちづくり運動についても積極的に推進してゆきます。

県道新潟港・竹尾線を通って県道新潟港・竹尾線を通って海岸線に出、飛行場西手から南下し、県道新潟・村上線を越え、じゅんさい池公園に立寄ります。それから、向陽町、太平町を通り阿賀野川川敷公園にいたる全長十八㌔㍍のコースです。

清掃施設整備に八億四千万円

駅南開発

都市基盤

西側連絡通路も建設

年々増え続けるゴミに対処するため、濁川・赤塚・茗荷谷の各埋立地の整備を行うとともに、収集体制の強化を図るためゴミ収集車九台を更新します。

また、清掃処理施設の処理能力のアップを図るため、東消掃工場のし尿処理施設の機器の取替工事や修理工事を行うなど、ごみ埋立地整備と合わせて施設改良整備に八億四千万円を計上しています。

このほか、ごみの減量と有価物の再利用のPRに努めるとともに、きれいなまちづくり運動についても積極的に推進してゆきます。

駅北口の整備にも着手

都市計画街路事業には十七億円を投じます。六十年開通を目指す千歳大橋は、橋りょう設計、用地買収を行います。四十七年度から工事を進めます。

一方、新潟駅北口の整備にも着手するため一億七千万円を計上。弁天町市街地再開発事業にも一億五千万円を投入します。

広場整備の進む新潟駅南口

機能的で快適な街づくりを目指し、高速交通時代に対応した都市基盤の整備のため、市は新年度も各種施策を講じます。

新潟駅南地区の開発は、新幹線開通に照準を合わせて工事を進めていきます。南口第一地区市街地再開発事業を引き続き推進するほか、南口広場の整備に三億三千五百万円、六十㍍幅景道路地下横断歩道を新設、完成は五十六年度。さらに二十㍍幅景道路を、六十二年完成をめどに工事に着手します。昨年開通した東側連絡通路に続き、総事業費十二億円で駅の南北を結ぶ西側連絡通路の建設にもとりかかります。

千歳大橋を設計

流通センターはほぼ完成

モール調査を実施

今年度から開始した中央跨線橋の基本計画調査を新年度も実施します。また、新潟駅から古町中心街に向けてショッピングや散策を楽しむ緑陰舗道を建設する歩行者用街路計画（モール計画）を新たに実施します。新潟都市圏パーソントリップ調査も引き続き行います。

現在六〇％まで完成している流通センターは、十九億円を投入して造成を行い九〇％まで完成させます。一方、流通センターへの道路整備は、二億六千万円で寺尾・小新線（西川右岸～流通センター入口）、延長一・四㌔㍍の改良工事を行います。完成は五十七年度。

ていた山の下・東港線の立体交差は五月から供用を開始します。道路舗装は小針、坂井線と坂井上新町線。道路改良事業では、坂井・上新町線など十一路線を行います。その中でも、石山、木戸地区の交通混雑を防ぐための出来島・上木戸線や、関分以西の混雑を防ぐ小針線の整備に全力をあげて取り組んでいきます。

制度融資の枠拡大

～新幹線対策も～

借受者に代わって、市が負担補助する信用保証料の限度額が引き上げられます。

好評の中小企業従業員独立開業資金貸付金の枠が、六百五十万円増額されます。

新幹線への対応

昭和五十七年春に上越新幹線が開通します。宣伝用ポスター、各種パンフレット等の作成、歓迎塔の設置（駅北口南口）をし、積極的に観光客の誘致宣伝をします。

労働対策

心身障害者の雇用のために商業地域の多極化の中で、変化の著しい古町中心街について、広域的な商業診断を実施します。

商店街の環境整備についてアーケード新設の際の補助率を、五㌫から十㌫に引き上げます。

また、外国との経済交流を促進するため、七月にハルピン市で開かれる黒龍江省輸出商品交易会に参加します。

中小企業 農林水産

中小企業対策

金融対策では、さらに各種制度融資の強化を図ります。融資総枠は、九十二億五千九百八十万円と、四億五千七百万円余拡大されます。

ガイドブックの作成や、企業主との懇談会を開きます。

また、七月から九月までに引退する失業対策事業就労者に対し、特別援助措置として、一人百万円を支給します。

生活排水路2万㍍を整備

～大江山農村環境改善センターも完成～

農村地域の生活環境を整備するため、二億八千万円をかけ九十五件、約二万㍍の生活排水路工事を行います。

農村総合整備モデル事業は、主要施設として五十四年度より継続して行っている"大江山農村環境改善センター"が完成するほか、若荷谷、丸山地区に集会施設を建設します。

二千四百万円を計上しました。

園芸センターでは、園芸農家に対する栽培技術や経営改善の指針とするため、野菜、切花栽培の試験、調査を行います。

アワビ・サザエの種苗放流も

水田利用再編対策に一千六百万円計上

水田利用再編対策として、一千六百万円を計上し、農協、集落への助成、転作の団地化奨励金、転作野菜の試作展示圃の設置—を行います。

野菜安定供給対策は、引き続き市独自品目のなす、きゅうり、レタスなど七品目を農業者に、価格差補助金として九十万円を計上。

水産関係では、"獲る漁業から育てる漁業"へ新年度も力を入れていきます。

クルマエビの種苗生産施設を関屋浜に作るほか、コタマ貝（アサリ）の種苗放流も行います。また新たに、チュウボット（ヒトデ）を利用してアワビ、サザエの種苗放流も行います。

人工魚礁も二基沈設します。